

令和6年度第3回香芝市都市経営市民会議 議事要旨

- ◆開催日時 令和6年12月23日（月）午前10時から正午まで
- ◆開催場所 香芝市役所庁舎3階 第1会議室
- ◆出席者 中川会長、吉村副会長、沖本委員、永渕委員、船木委員、吉村委員（計6名）
- ◆事務局 企画部：仲部長
企画政策課：山内課長、大西主幹、浅田主査、南浦主任、堀内主事
株式会社ブレインファーム 竹平
- ◆議題 (1) 第5次香芝市総合計画（中期基本計画及び（仮）香芝市デジタル田園都市構想総合戦略）の策定について

(1) 第5次香芝市総合計画（中期基本計画及び（仮）香芝市デジタル田園都市構想総合戦略）の策定について

【委員意見等】

- ・近鉄五位堂駅南側駅前広場の整備や市街化調整区域の線引きの見直しは、総合公園やスポーツ公園の整備事業と同様に計画に記載してはどうか。
- ・スフィア基準を満たす避難所運営に関して、重要性が高まっているため、計画に追記してはどうか。
- ・総合計画は、単なる行政計画ではなく、住民自治の実現を推進していくための計画でもある旨、計画に追記してはどうか。
- ・将来にわたって地域をより良くしていくためには、地域人材の育成や公園等の子どもを育む場をつくっていくことが重要である。
- ・地域人材の育成及び掘り起こしは、生涯学習の重要な課題であるため、地域還元に資する生涯学習に取り組むべきである。
- ・地域コミュニティの活性化に向け、総合計画の発信の方法を工夫してはどうか。
- ・離婚による市外への転出を抑制するためには、子育て世帯の各家庭状況に目を向けた親身な子育て支援が重要である。
- ・英語表記部分に注釈を入れるなど、総合計画内の文章は、誰もが理解しやすいよう工夫すべき。
- ・共働き世帯においては、時間的な余裕がない中で、従来の地域コミュニティへの関わり方を求めることは難しいと考えるので、抜本的に見直す必要があるのではないか。

- ・ボランティア活動の活性化のためには、ボランティアを希望される方の生活維持の観点で、有償ボランティアによるコミュニティを発展させることが重要だと考える。
- ・自治会においては、行政との関係の中でどの程度独自で判断しても良いのかなど、活動の基準が曖昧であるため、自主性が損なわれている可能性がある。このことについて行政の支援がなされれば、自治会の自主性が高まれば、行政の負担軽減にもつながると考える。
- ・地域コミュニティの活性化のため、地域で小学校施設を共有できるようになれば、よりコミュニティの結束を強固にできるものと考ええる。
- ・人権教育の一環として、幼稚園及び保育園の児童を対象としたアートスタート事業や小学校及び中学校の生徒を対象とした文化芸術に触れる機会の提供等を検討されてはどうか。
- ・地域間で地域づくりの経験談や手法を共有できるような機会を設けられてはどうか。

以 上